

U.S. Indicators

米国 貿易戦争を懸念もほぼ全業種で拡大 (18年3月 I S M製造業景気指数)

: 2018年4月5日 (木)

～受注・生産が高水準で推移～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

I S M製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
17/03	56.6	62.0	57.3	58.7	49.3	55.6	57.5	68.8	59.4	53.5
17/04	55.3	57.1	58.9	53.0	51.6	55.9	56.9	68.3	58.9	54.9
17/05	55.5	60.0	57.5	53.3	52.1	54.4	54.0	59.5	57.8	52.3
17/06	56.7	61.3	60.9	56.3	49.0	55.7	56.5	53.0	58.2	53.5
17/07	56.5	61.0	60.4	55.8	49.2	56.0	54.3	61.7	57.2	56.4
17/08	59.3	61.8	62.0	59.8	55.7	57.4	56.5	61.7	56.1	54.3
17/09	60.2	64.4	61.9	58.7	52.6	63.4	56.9	71.5	56.2	53.8
17/10	58.5	63.5	61.0	59.8	48.1	60.1	53.9	68.1	55.1	54.3
17/11	58.2	63.9	64.3	59.2	47.1	56.6	54.3	64.8	56.3	54.3
17/12	59.3	67.4	65.2	58.1	48.5	57.2	54.9	68.3	57.6	56.5
18/01	59.1	65.4	64.5	54.2	52.3	59.1	56.2	72.7	59.8	58.4
18/02	60.8	64.2	62.0	59.7	56.7	61.1	59.8	74.2	62.8	60.5
18/03	59.3	61.9	61.0	57.3	55.5	60.6	59.8	78.1	58.7	59.7

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

製造業景気指数は59.3 と前月比1.5%ポイント 低下したが高水準を 維持

18年3月のI S M製造業景気指数(季節調整値)は、59.3と前月比1.5%ポイント低下し市場予想の59.6を下回ったものの、高い水準を維持した。貿易戦争への懸念の高まりや前月に04年5月の61.4以来の高い水準となったこともあり低下したが、製造業部門の好調持続を示している。

ドルが実効レートで高い水準にとどまっている影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加(ボトムからの水準切り上げ)、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業部門の活動は活発化している。

総合指数を構成する項目では、新規受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫の全ての項目が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用(前月比▲0.48%p)、新規受注(前月比▲0.46%p)、在庫(前月比▲0.24%p)、生産(前月比▲0.20%p)、入荷遅延(前月比▲0.10%p)の順に押し下げ寄与が大きかった。重要な項目である新規受注や生産が低下したものの、内外需の堅調さを映じて高い水準で推移しており、製造業部門が良好な状態を当面維持することを示唆している。

一方、インフレ面では、新規受注や生産の拡大、悪天候などを背景とした入荷遅延の強まりや輸入制限導入懸念などを受けた商品市況の上昇によって仕入価格は高い水準を維持しており、川上でのインフレ圧力が一段と強まっている。

全18業種中17業種が 拡大した

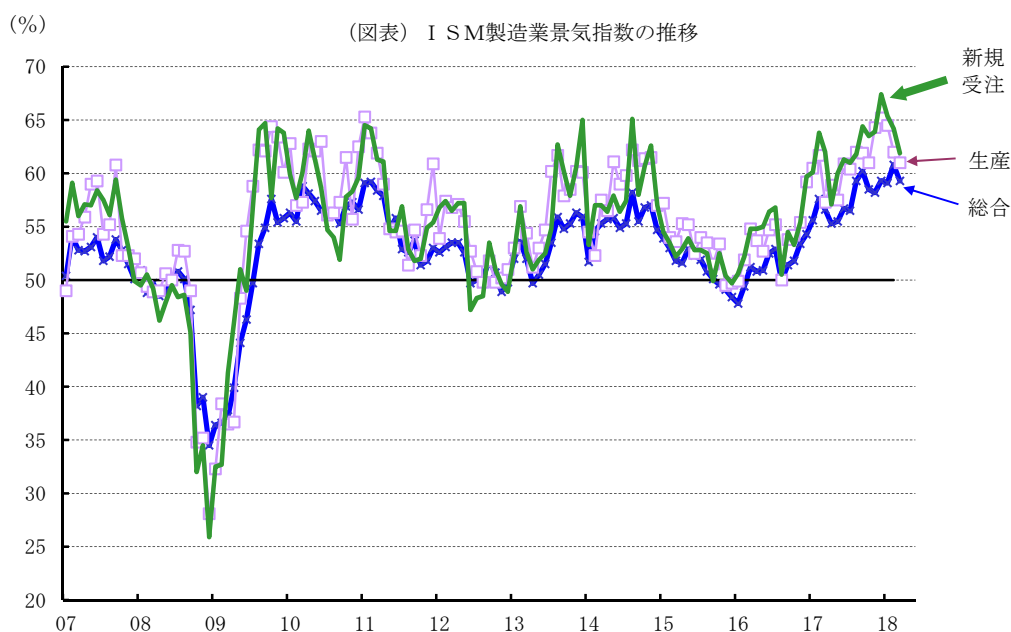
総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、加工金属、プラスチック・ゴム、コンピューター・電子機器、紙製品、印刷・関連サポート活動、非鉄、輸送機器、石油・石炭、木材製品、一般機械、化学製品、繊維、電気設備・部品、家具・同関連、その他製造業、食品・飲料・タバコ、一次金属の17業

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

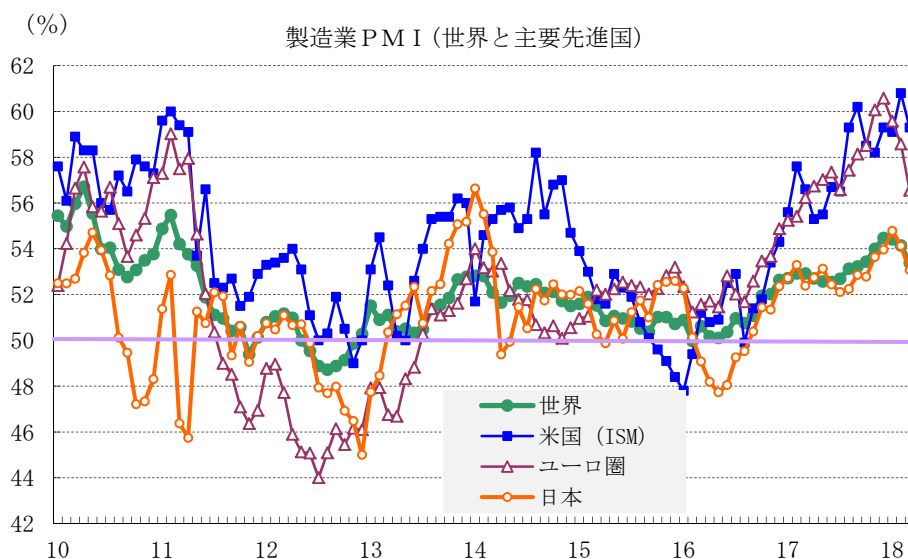
種と前月の15業種から増加、多くの業種で拡大しており、製造業は広がりを持った拡大となっている。縮小した業種数は、アパレルの1業種（前月2業種）に減少した。

**製造業景気指数は当面
高水準を維持する公算**

今後もドル高や中国経済の減速など需要の伸びを抑制する要因が残存するも、雇用・所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大や、企業業績の改善などに伴う設備投資の増加を背景に、米景気は堅調さを維持するとみられる。また、海外需要は拡大モメンタムがピークアウトするものの国内需要が牽引する形で堅調さを維持する公算が大きい。以上より、ISM製造業景気指数は、当面高い水準で推移すると予想される。



(出所) ISMデータより当社加工



(出所) ISM、IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。